



よこすか市議会だより

No.28

平成30年(2018年) 5月11日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議

25年ぶり大型予算を可決

2月臨時議会

2月9日に臨時議会を開催し、(仮称)追浜公園総合練習場及び夏島グランドの整備事業にお

3月定例議会

いて、事業費を増額する必要が生じたため、補正予算議案を審議しました。委員会での審査を経て、賛成多数で可決しました。

平成30年3月定例議会が2月16日から3月27日までの40日間で開催され、主に平成30年度予算について審議しました。

派議員2名による個人質問を行いました。その後3月6日からは4つの予算決算常任委員会分科会に分かれて、所管部局ごとに詳細な審査を行いました。

方式を採用したメリットを生かすこと、給食センター建設予定地周辺住民へ十分な説明を行うこと、同センターが災害時にも有効に機能するものとするなど提言し、審査を終了しました。

3月臨時議会

国の法改正等に伴う条例改正のため、3月30日に臨時議会を開催しました。昨年5月に通年議会を導入し、いつでも議会活動をを行うことができるようになったため、1年を通して議会のチェック機能が強化されました。



市内の高校生を対象に行った議会報告会 (4面記事参照)

3月定例議会 代表質問

南 まさみ 議員 自由民主党

横須賀再興プランに込めた市長の思いを問う

問 税収の伸び悩みと社会保障費の増という状況の中で、今後の財政面でのかじ取りにどのような認識で臨むのか。

答 これまでの緊縮志向から横須賀再興のために必要な施策には重点的に財源を配分する積極的な財政運営が必要。活気を取り戻すため何をやるべきかを考え、必要な財源はあらゆる手段で生み出す。

問 三浦按針と家康のNHK大河ドラマの制作は、何年度の実現を目標

派議員2名による個人質問を行いました。その後3月6日からは4つの予算決算常任委員会分科会に分かれて、所管部局ごとに詳細な審査を行いました。

方式を採用したメリットを生かすこと、給食センター建設予定地周辺住民へ十分な説明を行うこと、同センターが災害時にも有効に機能するものとするなど提言し、審査を終了しました。

2月26日から3月1日までの本会議では、市長等に対し各党派の代表6名による代表質問と無会

議として行われた。その後、中学校完全給食実施等検討特別委員長から最終審査報告があり、センター

活動を行うことができるようになったため、1年を通して議会のチェック機能が強化されました。

問 按針没後400年に当たる2020年には実現させたいが、まずはANNJNプロジェクトの4市以外の自治体とも連携して署名活動により機運を高めた。

問 待機児童解消にどのように取り組むのか。

答 非常に難しい課題と認識しているが、待機児童ゼロを目指し保育の受け皿の確保に取り組んでいきたい。

問 今後の福祉分野の相談体制は、障害福祉を

3月臨時議会

国の法改正等に伴う条例改正のため、3月30日に臨時議会を開催しました。昨年5月に通年議会を導入し、いつでも議会活動をを行うことができるようになったため、1年を通して議会のチェック機能が強化されました。

小幡沙央里 議員 無所属みらい 待機児童の解消と学童クラブについて

問 幼児教育・保育の無償化の前に、待機児童の解消を図るべきではないか。待機児童・保留児童はいくつ解消されるのか。

答 無償化を段階的に進めつつ、既存の保育所の定員拡充や認定こども園への移行等により待機児童の解消を進める。

問 認定こども園への移行が計画どおりに進まなかった理由は何か。

答 新制度の仕組みへの理解が進まなかったことや、保護者の理解が得られるか不安がある、また施設基準への対応の不安があるなど、新制度への不安な点もいくつかあるかと思う。

問 認定こども園化のための改修費用の助成等も考えてはどうか。

問 市立2病院体制とうわまち病院の建替え場所についてどのように考えているか。

答 2病院体制は必要と考える。また、本市の南側に拠点となる総合病院がないので地域性や財政負担を考慮しつつ平成30年度中に決定したい。

問 市内経済界の代表と本音で議論できる常設の場が必要ではないか。

答 新規事業として産業振興会議を年4回程度開催していく。

問 今後のファッションイマネジメントをどのように展開していくのか。

答 新たにFM推進課を設置し、土地・建物を一体的に考えて推進する体制を構築していく。

問 それも含めて、問題点を収集し、前向きに取り組みたい。

問 利用料の高さ、保護者運営、入所の際の抽選など学童クラブが抱える課題に対し、どのような対策を行うのか。

答 利用料は、これまで民間学童クラブに対する助成について継続してきたが、なかなか低減化につなげていない。今後、未設置学区に公設の学童クラブを設置し、公設で運営した場合には、運営費がどれくらいか、国・県からの補助金と合わせてどれくらい利用料収入が妥当な水準なのか、試算をしていきたい。

将来的に、公設学童クラブを一つのモデルとし、

【71面からの続き】

児童クラブ全体の利用料の低減につなげていけばよいのではないかと考えている。

問 公設の児童クラブをモデルにするとはいくう意味か。

答 公設で行った場合、どのような費用負担、経費がかかるのかということとを調べてみたい。公共の施設で公設で行ったと

土田弘之 議員 公明党

横須賀再興プランをSDGsで世界標準に!

問 SDGs(地球規模の諸問題に、国際社会全体で解決するための国連の普遍的な目標)を上地市長が掲げる横須賀再興プランに落とし込み、世界共通の「新しい物差し」を、まちづくりの基本目標に体系づけることが必要ではないか。

答 今後の政策立案や目標設定などの参考にしたい。まずは、再興プランの施策にSDGsの観点から体系づける。

問 国際社会に貢献できる資質と能力を磨くため、ユネスコスクールへ多くの学校が加盟できるよう教育委員会としてサポートしていくことが必要ではないか。

答教 横須賀総合高校でユネスコスクールへの加盟申請手続に着手している。まずは、同校における取り組みを検証していく。

問 地域公共交通体系の中にコミュニケーションバスを

き、どういふことで費用がかかるのかということとをまず調べてみたい。その後の展開で負担が大きいついた方たちに対して何ができるかということを考える上で、公設の児童は重要なモデルケースになると思っっている。それを何も民設の民間の方々に強請するつもりは全くない。

長谷川 昇 議員 研政

子ども子育て支援や教職員の多忙化対策を

問 これまで非常勤職員は職責や補償内容の違いから災害対応させることができないとしてきたが、見直す必要はないか。

答 非常勤職員が一律に災害対応業務に従事できないとは考えていない。前向きに検討したい。

問 小学校に行政センターなどの施設を集約し、地域の拠点として活用してはどうか。

答 地域コミュニティの再生に寄与する拠点づくりをFM戦略プランの基本方針に盛り込みたい。

問 障害者やお年寄りが利用するみんなのトイレや介護が必要な方のベッド付き高機能トイレを公共施設に増やせないか。

答 そういう方々の外出や社会参加に、みんなのトイレは欠かせない。改修時に可能な限り整備したい。

問 交通不便地域や移動困難者及び買い物難民へ

し、啓発のためのチラシをイベント等で配布するなど、必要な配慮を受けやすい環境の整備に努めていく。

加藤 眞道 議員 市政同友会

横須賀再興について

問 市内民間企業、研究開発機関との連携で何を

目指すのか。

答 本市には、情報通信

関連、海洋関連、エネルギー関連等様々な国際レベルの研究機関が集積している。これらの機関のネットワークを強化することで、新たな技術、ビジネスが生まれ、市内企業に波及効果がもたらされ、地域経済に好循環が生まれることを期待する。

問 横須賀市民になるベイスターズ新入団選手の歓迎会を行うことによる効果をいかがお考えか。

答 非常に良い取り組みと思う。地元としても球団に対し親近感が湧き応援にも力が入り、まちの盛り上がりにつながる。選手としても思い出の地となり第二の故郷と思っただけだと思う。

問 策定された再犯防止などのように取り組むか。

答 犯罪や非行の防止と過ちを犯した人たちの更生が大切だ。地域から排除したり孤立させるのではなく、就労や住居の確保を検討して社会の一員となるように支えていくことが重要である。

問 博物館の現状を踏まえ、海洋教育の場としての活用や地元研究機関との連携についてどう考えるか。

答 現在の博物館は市民に親しまれていない状況と感じている。海洋教育に通じたキャリア教育への寄与についてなど検討していく。また、地元研究機関と連携を深めることにより、今までになかった展示や体験プログラムを取り入れることが可能になると考える。

問 詳細な分析は行っていない。自身は離婚やひとり親世帯の割合が高く、低所得者も多く経済的に厳しい家庭が多いと分析している。共産党から提案のあった子どもの生活等の実態調査は来年度行いたい。

答 求めるつもりはない。

井坂 直 議員 日本共産党

市民生活が向上する施策の充実を求める

問 介護従事者を増やすために処遇改善が必要ではないか。

答 国全体の課題。市独自で取り組むことは難しい。介護職員のさらなる処遇改善が図られるよう国へ要望する。

問 訪問介護と通所介護が保険給付から外され、市が行う総合事業に移行した。これまで介護予防サービスを受けていた

保を検討して社会の一員となるように支えていくことが重要である。

問 博物館の現状を踏まえ、海洋教育の場としての活用や地元研究機関との連携についてどう考えるか。

答 現在の博物館は市民に親しまれていない状況と感じている。海洋教育に通じたキャリア教育への寄与についてなど検討していく。また、地元研究機関と連携を深めることにより、今までになかった展示や体験プログラムを取り入れることが可能になると考える。



自然・人文博物館

藤野 英明 議員 無党派

小児在宅ケアの新たな仕組みづくりが必要だ

問 24時間365日の医療的ケアが必要な子どもと家族が地域で安心して暮らしていけるために、家族と小児在宅ケアに関わる多職種の方々と市の担当各部署をメンバーに、連絡調整の場を新設し、定期的かつ継続的に開催して顔の見える関係をつくり、様々な課題の解決策を考えていくべきではないか。

答 おっしゃるとおりだ。30年度中に新設する具体的な運営形態や構成員等について、できるだけ早く調整を図っていく。

問 支援を調整するコーディネーターの養成と配置が喫緊の課題だが、どう取り組むのか。

答 県と連携し市内事業所への配置をぜひ進めていきたい。

3月定例議会 個人質問

小室 卓重 議員 無党派

全ての子どもを育ちを保障する施策を

問 保育園・幼稚園の段階的無償化の対象は。

答 認可保育所、認定こども園、小規模保育、家庭的保育、幼稚園である。

問 待機児童は保育所に入らず無償化の対象にならない、不公平では。

答 無償化を進めながら、定員拡充を行っていく。

問 (仮称)中央こども園用地はポトマーケツト駐車場が選定された

が、津波ハザードマップのランク2の浸水区域である。安全性を問う。

答 浸水の深さは2メートルの予測だから、高さ10メートルとなる建物の最上階へ避難すれば安全である。

問 くりはまみんなの公園へのマリノス練習場誘致においては、子どもの遊び場を確保されたい。

答 前向きに検討する。

予算決算常任委員会

平成30年度予算を賛成多数で可決

3月定例議会では、横須賀再興プランに基づいた平成30年度予算議案を中心に審査を行いました。各分科会では公設の放課後児童クラブの設置、学校施設を拠点とした地域コミュニティの強化(仮称中央こども園の整備、ルートミュージアム型軍港資料館の整備、国道357号延伸に向けた取り組み、浦賀奉行所跡地活用の検討、そして横浜F・マリノスの練習拠点誘致など、横須賀復活に向けた取り組みに関連する予算案を中心に活

発な質疑が交わされました。

特に、はつらつシニアパスにおいては、高齢化が進行している中、高齢者の社会参加を促進する事業であることから、対象年齢の変更等の激変緩和措置の検討の必要性など、多くの議論が交わされました。

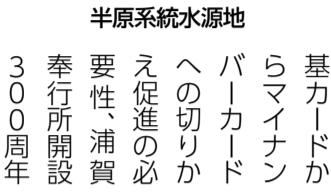
これを受け、3月23日に会議を

常任委員会の審査から

生活環境常任委員会(分科会)

半原系統水源地売却について多くの議論

平成30年度一般会計予算の審査では、総合防災訓練と防災フェア型防災訓練を隔年で実施することとした判断の根拠や妥当性、Jアラート受信設備の更新における国庫補助要請の必要性、小学校を地域コミュニティの拠点として様々な世代が交流できる仕組みをつくるスクールコミュニティ整備事業において地域コミュニティを推進していくための具体的構想及び学校使用に係る管理責任の所在、コンビニ収納を進めていく上での住



半原系統水源地

基カードからマイナンバーカードへの切りかえ促進の必要性、浦賀奉行所開設300周年

記念事業に向けたゆかりの都市視察の内容、食品ロスを減らすための食品取扱業者への啓発の必要性、家庭から排出される剪定枝の資源化検討の必要性、経験ある消防職員が減少していく状況への対策、救急救命士充足に向けた見通しなどについて質疑がありました。

また、上下水道事業会計予算の審査では、平成27年に廃止された半原水源系統の施設撤去を効率的計画的に進めるべく同施設撤去計画が示され、同水源地売却価格の算定根拠や同系統廃止に係る国庫補助要望の必要性などについて質疑が交わされました。

次いで一般報告では、横須賀市地域防災計画の改定や東京電力ホールディングスへの賠償請求などの報告を受けました。

(委員長 南まゆみ)

総務常任委員会(分科会)

全市を軍港資料館とするルートミュージアム整備

平成29年度補正予算案の審査では、横浜F・マリノス練習場誘致における今後の地域連携の重要性、ウインドサーフィンワールドカップで実施する子どもや障害者向けイベントなどに対して質疑が交わされました。

また、平成30年度予算の審査では、広報戦略アドバイザーの適切な効果検証、東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致に向けた交渉状況、横浜DeNAベイスターズ練習場誘致に伴う横須賀

教育福祉常任委員会(分科会)

安心して暮らせるための予算案を審査

平成30年度予算の審査は、新規事業である介護ロボットの導入支援、(仮称)中央こども園の整備、企業内保育所の設置支援、拡充事業である待機児童ゼロに向けた取り組み、放課後児童対策の推進に関する同教室の整備方法、実施後の学力向上など他部課実施の学習支援事業とのすみ分けの明確化の必要性など、多くの質疑がありました。

この他、65歳以上の市民が路線バスを乗り放題できるはつらつシニアパスについては、販売額と対象年齢引き上げを行うことに至った経緯や理由、制度改正を見直す必要性などについて、多くの委員から質疑が行われました。

さらに、介護施設等人材育成支援事業の介護人材確保策の位置づけ、いのちの基金積立金充当先の妥当性、妊娠SOSカードの効果

(委員長 加藤真道)



法的な配布方法検討の必要性、いじめ対策事業と新たな課題への対応方法、スクーラーの配置方法及び指導内容などについて、質疑が交わされました。

一般報告では、中学校の学校選択制の中止に関する経緯等、「横須賀版キッズウィーク」の取り組み内容、横須賀口腔衛生センターの移転要望、平成29年度放課後こども教室試行事業の実施結果などについて、多くの質問がありました。



展示内容の充実が図られるペリー記念館

都市整備常任委員会(分科会)

将来的に魅力のある街づくりに向けて意見を付す

都市整備分科会では5件の議案について審議しました。平成30年度一般会計予算については、ソレイユの丘の管理において、民間の活力を最大限に生かし収益を上げることで指定管理料を抑える方策を検討する必要性、同公園の隣接地活用事業における官民連携事業化調査実施に当たり計画の前段階で近隣住民の意向を確認する必要性、ペリー公園における映像展示等備品購入で期待する効果、久里浜港がみなとオアシスに認定されることによるメリットについて

スタジアム収容人数拡大の可能性、ファシリテイマネジメント推進における方針転換の市民周知、横須賀野菜ブランド化に向けたイメージ戦略、外国人労働力に対するニーズの精査、商店街での外国人客コミュニケーションツールとして導入するアプリケーションの妥当性、浦賀奉行所開設300周年を地域から盛り上げて市外に発信する必要性について質疑が交わされました。特に、ともに平成32年度の運用開始を目指すコンビニ収納と市

都市整備常任委員会においては、8件の議案について審議しました。横須賀市建築物の解体等工事に伴う紛争の未然防止に関する条例制定について、同条例に基づき提出された解体に伴う非飛散性アスベストに係る書類の保存年限について議論を行いました。結果、全て可決すべきものとして決定しました。加えて、2件の請願を審査し、いずれも不採択とすべきものと決定しました。

ただし、「吉井1丁目開発・第三期計画を許可しないことについて」の請願に対し、連続した30000㎡未満の開発行為により、適切な住環境が整備されない課題を専門的な知見をもって検討すべき旨の意見を付すことを決定しました。

(委員長 嘉山淳平)



ルートミュージアム中核拠点(イメージ図)

(委員長 土田弘之宣)

2月臨時・3月定例・3月臨時議会審議結果

○は賛成、×は反対、―は欠席

Table with columns: 議案番号, 賛否が分かれた議案, 会派 (自民, 無所属, 公明, 研政, 市政, 日本共産), 無会派 (小室, 藤野). Rows list various budget and ordinance items.

*その他議案57件については、全会一致で可決または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。
*議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

【会派所属議員名】平成30年3月30日現在

- 自由民主党 田辺昭人 大野忠之 青木哲正 青木秀介 木下憲司(議長) 松岡和行 渡辺光一 西郷宗範 南まさみ 井口一彦 田中洋次郎
無所属みらい 永井真人 嘉山淳平 矢島真知子 はまのまさひろ 葉山直 小幡沙央里 山本けんじゅ 加藤ゆうすけ
公明党 板橋衛 鈴木真智子 土田弘之宣 石山満 関沢敏行 本石篤志 二見英一
研政 伊関功滋 長谷川昇 小林伸行 高橋英昭 角井基
市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤眞道 杉田惺 山口道夫
日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂直

意見書・決議

Table with columns: 件名, 結果. Items include: 米軍に安全管理の徹底を求める意見書の提出について (可決(全会一致)), 平成30年度横須賀市一般会計予算に対する附帯決議について (可決(賛成多数))

請願・陳情

Table with columns: 件名, 結果. Items include: 核兵器禁止条約の日本政府による署名及び批准を求める意見書の提出について (不採択), 浦賀5丁目62番1号及び2号前の市道幅員の拡幅について (不採択), 吉井1丁目開発・第Ⅲ期計画を許可しないことについて (不採択), ヨゼフ病院坂道と浦賀道との交差点への監視カメラ新設について (趣旨不承), 平成29年度事務事業等の総点検の見直しにおけるはつらつシニアパス市負担額の増額及び高齢者向け事業への利用者意見の反映について (審査終了)

*審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

6月定例議会のお知らせ

Table with columns: 開催日, 会議名. Lists dates from June 6 to June 22 and corresponding council sessions.

*時間の記載がないものは10時開会です。
*特別委員会については、日程が追加される場合があります。

編集後記



昨年広報広聴会議が発足し、議場での高校生版議会報告会など新たな試みに取り組んでいます。市議会だよりも、わかりやすい紙面を目指して工夫を重ねているところです。議会の活動や市政へ関心を持っていたくきっかけになれば幸いです。

高校生を対象とした議会報告会を開催しました!

平成30年3月29日に本会議場と委員室で、市内の高校生を対象とした議会報告会を開催しました。横須賀総合、横須賀明光、三浦学苑、緑ヶ丘女子高校の4校24名に加え、本市議会と包括的パートナーシップ協定を締結している関東学院大学の大学生がサポート役として参加しました。第1部では「市議会の仕組み」と「横須賀市が抱える課題と横須賀市の政策」などについて議員から報告がありました。また、第2部では「横須賀を魅力的なまちにするには」というテーマをもとに、議員・大学生・高校生が6グループに分かれグループディスカッションを行いました。生徒からは、「より安価なご当地グルメを目玉にした集客促進」「異文化交流の更なる促進」「市内公園施設の利活用」「バスの学割拡大等の学生向け施策の推進」「若年層向けイベントの拡充」「全世代が気軽に使える公共施設の実現」などについて多くのアイデアが出されました。

FM戦略プラン審査特別委員会を設置!

これまで公共施設を一元管理していくファシリティマネジメントの考えをもとに施設配置適正化計画が進められていました。しかし、個別施設の面積削減を中心に策定された計画では市民の理解を得にくいことから凍結され、新たな公共施設のあり方を検討していく必要性が生じました。その結果、平成31年度から10年間を対象とした、施設の更新・再編のためのFM戦略プランを策定する運びとなりました。計画策定に向けては、市長・副市長を中心に構成される公共施設マネジメント会議、そして、課長を中心に構成されるFM戦略プラン検討部会で議論を進めます。こうした背景から、議会としても特別委員会を設置し、公共施設の集約・複合化・維持・廃止・公民連携の活用など、様々な検討に対する審査、その妥当性の判断を行い、民意を適時適切に反映していくために集中審議を行ってまいります。